

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	五十嵐 靖博	所属	山野美容芸術短期大学
研究会等名称	批判心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員            37名 (うち認定心理士        1名) 非会員        11名 (うち認定心理士        2名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 下記の4つのシンポジウムを主催した。</p> <p>① 批判心理学セッション1:「批判心理学をはじめよう！」 日時: 10月1日(日), 午後5時開会 会場: 静岡大学東京事務所。同事務所は東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター内, 6階612号室 話題提供1: 五十嵐 靖博 (山野美容芸術短期大学)「世界の心理学の中の現代批判心理学運動」 話題提供2: いたう たけひこ (和光大学)「相模原事件と批判心理学: 向谷地生良の思想を手がかりに」 話題提供3: 田辺 肇 (静岡大学)「批判心理学を教育に活かすには?: 精神保健福祉史, 心理学史, 心理学論における」 話題提供4: 百合草 禎二 (主体科学としての心理学研究所) 「Ian Parker.ed., Critical Psychology: Critical Concepts in Psychology を読む (その1)」 実施内容と成果: 批判心理学研究会はこれまで7年の間, 日本心理学会大会や発達心理学会大会, 国際心理学会議 (ICP) などで批判心理学に関する様々な問題を討議するためシンポジウムを開いてきた。その経験を踏まえ, 会員からより緊密な研究交流の場を求める声が複数寄せられたことを契機として, 東京都心の会場で批判心理学セッションを隔月で開催することとした。シンポジウムよりも気軽に現在, 進行している研究やリサーチ・クエスチョンの生成の過程も含めて, 自由に発表し討議するフォーラムを開いた。 第1回の批判心理学セッションでは, 21世紀に心理学界の国際的な新潮流として注目されるようになった現代批判心理学運動や相模原における障がい者襲撃事件と「べてるの家」運動の思想, 批判心理学の立場からの心理学教育, イギリス批判心理学について話題提供が行われ, それぞれの主題について活発な討議が行われた。 中京や関西など遠方からも参加者が駆けつけ大学院生が積極的に討論に加わるなど, 今日日本の心理学ワールドにおける批判心理学への関心の高まりが実感された。</p> <p>② 批判心理学セッション2 日時: 12月3日(日), 午後2時開会 会場: 静岡大学東京事務所。同事務所は東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター内, 6階612号室</p>		

話題提供 1：五十嵐 靖博（山野美容芸術短期大学）「原子力発電所事故のディスコース分析：「ただちに健康に影響はありません」をめぐる」

話題提供 2：田辺 肇（静岡大学）「批判心理学を教育に活かすには？：精神保健福祉史、心理学史、心理学論における（2）」

話題提供 3：百合草 禎二（主体科学としての心理学研究所）「Ian Parker.ed. Critical Psychology: Critical Concepts in Psychology を読む（2）」

話題提供 4：小田 友理恵（法政大学大学院）「心理学観測定の試み」

実施内容と成果：

第2回の批判心理学セッションでは福島原子力発電所事故に関してマスコミ報道などで広く流布したテキストのディスコース分析やメンタルヘルスに関する心理学教育、ドイツ批判心理学（ベルリン学派）、心理学者の心理学観と科学観について話題提供が行われた。

今日、日本社会が直面している喫緊の課題や心理学史の中で特筆されるドイツ批判心理学（ベルリン学派）を日本で活動する批判心理学者がどう考えているか、その到達水準が明らかになった。また批判心理学の立場から心理学教育を実践するための方法やリソース、その背景となる心理学者の心理学観を検討する必要性を確認した。

### ③ 批判心理学セッション 3

日時：2月4日（日）、午後2時開会

会場：静岡大学東京事務所、同事務所は東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター内、6階612号室

話題提供 1：増田 匡裕（和歌山県立医科大学）「コミュニケーション学でもらった“玉手箱”を心理学の“浜辺”で開けてみると(その1)：バフチンの対話論に基づく『対人関係の弁証法理論』が知られていない」

話題提供 2：百合草 禎二（主体科学としての心理学研究所）「Tolman, C. W. (1994). Psychology, society, and subjectivity: An introduction to German Critical Psychology London, UK: Routledge を読む」

話題提供 3：五十嵐 靖博（山野美容芸術短期大学）「原子力発電所事故のディスコース分析(2)：猪苗代湖ズの『プライド。祈るように叫んだ歌』をめぐる」

話題提供 4：小田 友理恵（法政大学大学院）「心理学の『科学性』について：科学史と心理学史を踏まえた、主観性と客観性に関する考察」

話題提供 5：田辺 肇（静岡大学）「批判心理学を教育に活かすには？：精神保健福祉史、心理学史、心理学論における(3) “心のモデル”の伝え方」

実施内容と成果：

3回の批判心理学セッションでは心理学の研究方法論や歴史、心理学の科学性、ドイツ批判心理学、福島原子力発電所事故をめぐる大衆のディスコース、精神保健福祉のための心理学教育、バフチンのコミュニケーション理論の心理学にとっての意義などについて討議し、理解を深めた。

西日本など遠方からの参加者を含め、いっそう多くの参加者を得た。6時間ほど活発に意見交換が行われ、今日の日本の心理学ワールドにおいて批判心理学セッションが担う役割を再認識した。

2018年度は東アジア批判心理学会議の開催へ向けて、いっそう積極的に研究活動に取り組んでいく。

### ④ シンポジウム「対テロ戦争における『過酷尋問』と心理学：ホフマン報告書を読む」

日時：3月19日（月）、14:30-16:45

話題提供：五十嵐 靖博（山野美容芸術短期大学）「ホフマン報告書にみるアメリカ心理学会と心理学者の行動の論理と倫理：批判心理学の立場から」

指定討論 1：いとう たけひこ（和光大学）

指定討論 2：杉田 明宏（大東文化大学）

会場：和光大学 A 棟 9 階心理教育学科資料室

実施内容と成果：

2011年にアメリカを襲った9.11同時多発テロの後、テロ対策のためアメリカ政府の施策の一環として軍事・情報当局によってテロ容疑者に「過酷尋問」が行われた。話題提供ではアメリカが主導して始まった「テロとの戦い」とアメリカ心理学会の関係を、アメリカ心理学会理事会が委嘱した独立調査委員会の報告書（ホフマン報告書）にもとづいて検討した。

指定討論では平和心理学の立場から戦争と心理学の関係が歴史的展望のもとで批判的に論じられた。アメリカにおいて、また日本において今日、心理学と軍事セクターの関係をどう考えるかが討議された。この知見を『ホフマン報告書ガイドブック』（仮題）を含む叢書『戦争と心理学』に反映させるべく、2018年度もいっそう研究活動に取り組みたい。

## 研究集会参加者リスト

＜研究会名＞				
批判心理学研究会				
研究集会開催日： 2017年 10 月 1日（日）				
	氏名	所属	会員	認定心理士
1	五十嵐靖博	山野美容芸術短期大学	○	
2	伊藤武彦	和光大学現代人間学部	○	
3	田辺肇	静岡大学大学院人文社会科学研究科	○	
4	百花草 禎二	主体科学としての心理学研究所	○	
5	その他、7名の参加者（うち1名は認定心理士）			
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

## 研究集会参加者リスト

＜研究会名＞				
批判心理学研究会				
研究集会開催日：2018年 12月 3日(水)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	五十嵐靖博	山野美容芸術短期大学	○	
2	田辺肇	静岡大学大学院人文社会科学研究科	○	
3	百花草 禎二	主体科学としての心理学研究所	○	
4	小田 友理恵	法政大学大学院	○	
5	伊藤武彦	和光大学現代人間学部	○	
7	その他, 9名の参加者			
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

## 研究集会参加者リスト

＜研究会名＞				
批判心理学研究会				
研究集会開催日： 2018年 2月 4日（日）				
	氏名	所属	会員	認定心理士
1	五十嵐靖博	山野美容芸術短期大学	○	
2	杉田明宏	大東文化大学大学院文学研究科	○	
3	田辺肇	静岡大学大学院人文社会科学研究科	○	
4	増田 匡裕	和歌山県立医科大学	○	
5	小田 友理恵	法政大学大学院	○	
6	伊藤武彦	和光大学現代人間学部	○	
7	その他、8名の参加者（うち1名の認定心理士）			
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

## 研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
批判心理学研究会				
研究集会開催日： 2018年 3 月 19日 (月)				
	氏名	所属	会員	認定心理士
1	五十嵐靖博	山野美容芸術短期大学	○	
2	伊藤武彦	和光大学現代人間学部	○	
3	杉田明宏	大東文化大学大学院文学研究科	○	
4	田辺肇	静岡大学大学院人文社会科学研究科	○	
5	その他, 5名の参加者 (うち1名は認定心理士)			
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

(様式5)

2018年 3月 30日

日本心理学会研究会 2017年度会計報告書

研究会名称 批判心理学研究会

研究会番号 研 17020

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2017年4月4日	印刷費 (研究集会資料制作用トナー代)	¥5,781
2017年9月30日	印刷費 (シンポジウム配布資料)	¥5,560
2018年2月2日	印刷費 (シンポジウム配布資料)	¥7,799
2018年2月15日	印刷費 (シンポジウム配布資料)	¥6,035
	返金	¥4,825
支出合計		¥30,000